1. 授業の概要(ねらい)

「家庭訪問保育」について理解を進め、必要な知識や技術を体系的に学ぶことを目的とする。また、新制度に対応する「居宅訪問型保育基礎研修」の内容についても学ぶ。本講義を履修し、保育士の資格を取得して卒業する者で「認定ベビシッター資格」を希望する者に、「認定ベビシッター資格」が付与される。

2. 授業の到達目標

- ・「家庭訪問保育」の特徴を知り、そこで必要とされる知識を身につける。
- ・新しい制度の「居宅訪問型保育」について理解する。
- ・「家庭訪問保育」に対して自分なりの興味、関心を持つ。

3. 成績評価の方法および基準

出席及び平常点(授業への参加度、課題提出等)50%、試験50%で評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業時に随時紹介する。

5. 準備学修の内容

授業内で指定された参考文献、プリントなどを読み、授業に臨むこと。

6. その他履修上の注意事項

レポート提出や発表を取り入れるため、受講生の積極的な参加が望まれる。
なお、受講生のニーズや実態に即して履修内容を若干変更することがある。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 居宅訪問保育の概要
- 【第3回】 乳幼児の生活と遊び
- 【第4回】 乳幼児の発達
- 【第5回】 居宅訪問型保育の保育内容
居宅訪問型保育における環境整備
- 【第6回】 居宅訪問型保育の運営
居宅訪問型保育の職業倫理と配慮事項
- 【第7回】 居宅訪問型保育における保護者への対応
- 【第8回】 子ども虐待
- 【第9回】 乳幼児の食事と栄養
- 【第10回】 小児保健 I・II 乳幼児の健康観察のポイント
子どもに多い症状とその対応
- 【第11回】 事故予防とその対応
保育技術～睡眠、排泄、清潔
- 【第12回】 産後ケア、病児・病後児保育
- 【第13回】 特別に配慮を要する子どもへの対応
- 【第14回】 一般型家庭訪問保育の業務の流れ
さまざまな家庭訪問保育
- 【第15回】 まとめとテスト